

- ・地理誌叢の前身となる『日本大学地理学会通信』、『日本大学地理地学会報』、『日本大学地理学報告』も掲載した。
- ・タイトル, 著者名, 頁数は, 各号の本文の記載にしたがって掲載した。

総目次

『地理誌叢』51巻1号 2009年10月

論説	グローバル化に適応するユリ品種開発地域の再編 —国際条約と国内法制度に着目して—	両角 政彦	1-18
論説	新潟県十日町市松代地区における過疎化と農業の維持 過程	佐藤 創太	19-36
展望	近年の地理学における鉄道・バス交通に関する研究動 向と課題	高橋 悠	37-44
研究ノート	2005年国勢調査に対する大学生の認知度と次回国勢 調査への対策	畠山 輝雄	45-52

『地理誌叢』51巻2号 2010年2月

論説	兵庫県豊岡市における靴産業の事業所対応と産地構造 の変容	中田 昭一郎	1-18
研究ノート	地図から消された油田 —旧版地形図における戦時改描とその効果—	品田 光春	19-29
大会報告論文	カンボジア・アンコール遺跡に見られる砂岩ブロック の風化形態と風化深度	原 正剛・藁谷哲也	30-37
大会報告論文	北海道石狩低地帯北部における遺跡の特徴と古環境	田代 崇	38-45
大会報告論文	上海市里弄住宅と里弄住民の社会・経済的特徴	任 海	46-49
大会報告論文	千葉県南房総市和田地区における小型捕鯨業の地域的 展開	宇野 康	50-55
大会報告論文	都市近郊における堆肥供給の展開 —神奈川県伊勢原市を事例として—	木村 友紀	56-61
大会報告論文	神奈川県秦野市における葉たばこ栽培の衰退と工業化	中村 純一	62-66
文献紹介	松倉公憲著『地形変化の科学—風化と侵食—』『山崩れ ・地すべりの力学—地形プロセス学入門—』	藁谷 哲也	67-68

『地理誌叢』52巻1号 2010年6月

研究ノート	夏期晴天日における都市内緑地の気温冷却効果とその 形状依存性	梶山 貴弘	1-13
研究ノート	日本における持続的農業の現状と課題 (欧文)	水嶋一雄・落合康浩	14-20
資料	『越後石油地区』について	品田 光春	21-26
資料	地理教育を取り巻く現状と課題	揚村 洋一郎	27-29

『地理誌叢』52巻2号 2011年2月

研究ノート	介護サービス事業所の増加に伴う地域雇用の変容 —神奈川県事例—	畠山 輝雄	1-12
大会報告論文	測量・地図作製業界におけるGISの現状と簡易GPS		

	の利用法	赤沢 正晃	13-23
大会報告論文	地価からみた東京における商業地の階層構造の変化 —1975年から2009年にかけて—	牛垣 雄矢	24-34
文献紹介	竹中克行・大城直樹・梶田 真・山村亜希編著『人文 地理学』	清水 和明	35-38

『地理誌叢』53巻1号 2011年7月

論説	土壌断面構造の及ぼす夏季地温への影響 —都市公園土壌を対象に—	一澤ひかる・魚井夏子・ 渡邊真紀子・森島 済	1-12
研究ノート	カリフォルニア州デービス市における有機農業の 現状と課題	柴原智視・今野 希・ 勝亦健太・小池理恵子・ 原 昌美・須藤彩夏・ 水嶋一雄	13-22
研究ノート	カリフォルニア州デービス市におけるファーマーズ マーケットと地域社会のかかわり	清水和明・大隈 茜・ 荷見光太郎・牧田 悠 ・両角 政彦	23-32
研究ノート	カリフォルニア州デービス市中心市街地における まちづくりの現状と課題	笹本裕大・大岸克也・ 酒井直人・水嶋一雄	33-42
研究ノート	カリフォルニア州デービス市における環境政策として の自転車道の整備とその利用	久保田貴大・石橋祐治・ 高橋晴也・折原亮平・ 両角政彦	43-54

『地理誌叢』53巻2号 2012年2月

研究ノート	フィリピンルソン島中央平原パイタン湖における湖底 堆積物の粒度変動と植生変遷史に関する一考察	田代 崇・渡邊真紀子	1-8
研究ノート	和歌山県におけるインフルエンザ感染症の空間分布と 分布指向性	荒堀 智彦	9-19
研究ノート	江の島における日帰り観光の実態	中岡 裕章	20-30
研究ノート	上海市の人口増加とその要因について	任 海	31-39
研究ノート	わが国における地方公共交通の現状と課題	上崎 貴仁	40-50
教材研究	世界史必履修に替わる新科目としての「地理基礎」・ 「歴史基礎」	揚村 洋一郎	51-61

『地理誌叢』54巻1号 2012年12月

紙碑	松村祝男先生のご逝去を悼む	水嶋 一雄	i - ii
研究ノート	宮古島西方、下地島北西部の海岸から採取したハマサ シゴ岩塊の較正年代	渡曾晋平・小元久仁夫	1-6
研究ノート	市原市立里見小学校における農業体験学習の実態と地 域での役割	笹本裕大・石神亜沙子・ 藤田 要・藤井 太	7-16

資料	ハンザ都市リユーブックの都市機能と景観の特徴	平塚直史・井田琢麻・ 鯨井あずさ・小谷郁恵・ 鳥海聖仁・堀 光順・ 堀内大介・佐野 充	17-23
資料	カールスルーエ市におけるトランジットモールと ラムの実態	大隈 茜・牧田 悠・ 大久保勇樹・亀田龍也・ 白木優里・須田萌子・ 加藤幸真	24-30
資料	パリにおける観光客の受け入れ体制と観光実態	片山美穂・石井ちひろ・ 三木彩央・笹谷直人・ 小倉匡人・多田和正・ 道関明奈・畠山輝雄	31-37

『地理誌叢』54巻2号 2013年3月

研究ノート	宮古島南東，東平安名崎周辺における海成段丘の形成 年代	比企祐介・小元久仁夫	1-15
研究ノート	合併後の市町村における周辺部の過疎化の検証	畠山 輝雄	16-25

『地理誌叢』55巻1号 2013年6月

大会報告	理想郷としての南カリフォルニア —地域イメージと人口移動—	矢ヶ崎 典隆	1-10
研究ノート	宮古島南東部，マイバー浜から採取したハマサンゴ化 石の年縞分析—気候変動復元の試み—	白岩真由子・小元久仁夫	11-19

『地理誌叢』55巻2号 2014年2月

紙碑	菊池万雄先生のご逝去を悼む	山崎 達夫	i
論説	行政指導による中国の都市構造の変化 —上海市を例として—	任 海	1-15
展望	酸素同位体比 ($\sigma^{18}\text{O}$) 分析から推論される MIS-11 以降における海成段丘の形成期 —既存研究のレビューと提言—	小元 久仁夫	16-36
研究ノート	エロージョンメーターを用いた房総半島溪流部，泥岩 河床の侵食量の計測	前田拓志・藁谷哲也	37-48

『地理誌叢』56巻1号 2014年9月

論説	北海道南部，後志利別川低地における沖積層から検出 された駒ヶ岳 g テフラの岩石化学的諸特性とその降灰 分布	鈴木 正章	1-9
研究ノート	宮古列島から採取したビーチロック試料の較正年代と 津波の年代	小元 久仁夫	11-24
研究ノート	アンコール・ワットの第一回廊を構成する砂岩柱基部 の水分変化と凹み深さの関係	比企祐介・藁谷哲也	25-37
教材研究	博物館展示を利用した実地教育		

—千葉県立中央博物館の実践—

江口誠一・白井 豊 39-43

『地理誌叢』56巻2号 2015年2月

論説	最大被覆モデルによる公的医療施設の最適立地 —新潟県上越医療圏の事例—	相羽 良寿	1-10
展望	カラコラム山脈北西部フンザ川流域およびインダス川 上流域における近年の気温・降水量の分布とその変動 に関する研究の展望	梶山 貴弘	11-26
教材研究	フィールド・ミュージアム活動における地域学習 —千葉県小櫃川流域を例として—	江口 誠一	27-33

『地理誌叢』57巻1号 2015年8月

研究ノート	スイス・ロース氷河の18世紀以降今日までの後退に ついて	小元 久仁夫	1-11
研究ノート	距離を考慮した居住地区分類の一試論 ：東京大都市圏を事例として	草野 邦明	13-28
研究ノート	山口県秋吉台におけるドリーネ畑周辺域の景観変化	小松久美・藏本隆博・ 江口誠一	29-41

『地理誌叢』57巻2号 2016年3月

論説	2009年度介護報酬改定に伴う地域密着型サービスの 地域差の変化	畠山 輝雄	1-12
研究ノート	秋吉台における草地縮小に伴う岩上蘚苔類群落の侵 入とその構成種	羽田麻美・乙幡康之	13-24
資料	フィリピン・ルソン島中央平原における完新世湖成 堆積物中から発見された珪長質テフラの記載岩石学 的特徴	田代 崇・植村杏太	25-30

『地理誌叢』58巻1号 2016年11月

研究ノート	長崎半島脇岬海岸のビーチロックの形成に関する一 考察	小元久仁夫・伊藤佑始	1-10
研究ノート	千葉県鹿島川水系上流域における弥生時代以降の植 物珪酸体化石群と古環境	江口 誠一	11-21

『地理誌叢』58巻2号 2017年3月

論説	長野市の人口変化と年齢構成	高阪 宏行	1-22
研究ノート	スノーリゾート湯沢町におけるリゾートマンション の建設と利用形態	須田 萌子	23-34
資料	著作一覧	高阪 宏行	35-39

『地理誌叢』59巻1号 2017年9月

研究ノート	上海市における都市更新に伴う里弄住宅居住者の意 識変化	任 海	1-14
研究ノート	伊江島南岸, ニャティアガマ洞窟床堆積物の ¹⁴ C年		

	代と地形発達	小元 久仁夫	15-25
教材研究	ArcGIS を用いた衛星画像による土地被覆分類の解析方法	梶山 貴弘	27-36
文献紹介	馬場 章著『漆器業地域の技術変化』之潮, 2016 年	青木 英一	37-38
『地理誌叢』59 巻 2 号 2018 年 3 月			
紙碑	立石友男先生のご逝去を悼む	井村 博宣	1-2
遺稿	旧版地形図による条里地割の分布	立石 友男	3-16
論説	南西諸島から採取した炭酸塩試料の ^{14}C 年代の補正	小元 久仁夫	17-30
研究ノート	公共施設へのネーミングライツ導入に対する住民認識—京都市を事例に—	畠山 輝雄	31-45
資料	『古志郡浦瀬石油借区略図』からみた 1892 年の東山油田の借区所有状況	品田 光春	47-52
『地理誌叢』60 巻 1・2 号 (合併号) 2019 年 3 月			
資料	小元久仁夫の地理学および関連科学に関する文献資料	小元 久仁夫	1-9
資料	現地調査特化型 GIS アプリを用いたアンケートの作成—京都市中心部における外国人旅行者への観光行動調査を事例として—	遠藤 有悟	11-26
『地理誌叢』61 巻 1・2 号 (合併号) 2020 年 3 月			
研究ノート	カラコラム山脈北西部パサー氷河における 1967～2019 年の面積変化と気候変化	梶山 貴弘	1-11
資料	地理総合に向けた GIS 教材の「GIS カード」を使用した日本大学鶴ヶ丘高等学校での授業について	土田雅代・黛 京子・関根智子	13-20
資料	南極昭和基地周辺地域とマランビオ島の氷河および周氷河地形研究の総括	小元 久仁夫	21-36
文献紹介	上野和彦・小俣利男編『東京をまなぶ』古今書院, 2020 年	青木 英一	37-39
『地理誌叢』62 巻 1・2 号 (合併号) 2021 年 3 月			
展望	^{14}C 年代測定の自動化と T _{max} を 6 万年以上に拡大する研究	小元 久仁夫	1-10
研究ノート	コロナ禍におけるプラネタリウム施設の臨時閉館と再会—埼玉県の事例を中心に—	井内 麻友美	23-41
『地理誌叢』63 巻 1・2 号 (合併号) 2022 年 3 月			
展望	^{14}C 年代による地形, 地質, 古環境, 遺跡の編年学的研究	小元 久仁夫	1-20
研究ノート	フィリピン・中部ルソンの丘陵地にみられる階段状微地形の形成プロセスに関する予察的研究	前田拓志・田代 崇・森島 済	21-30
書評	松倉公憲著『地形学』朝倉書店, 2021 年	佐藤 浩	31-32

『地理誌叢』 64 卷 1・2 号 (合併号) 2023 年 9 月

研究ノート	沖縄島本部半島西方, 水納島のビーチロックから採取した試料の ^{14}C 年代	小元 久仁夫	1-4
研究ノート	併設タイプ別の介護保険関連施設の立地特性 —徳島市を事例に—	畠山 輝雄	5-19
研究ノート	カラコルム山脈フンザ川流域における 1990-2020 年の氷河面積の変化	梶山 貴弘	21-31
文献紹介	元木靖著: 南インドの景観地誌 交錯する伝統と現代 海青社, 2022 年	田野 宏	33-34